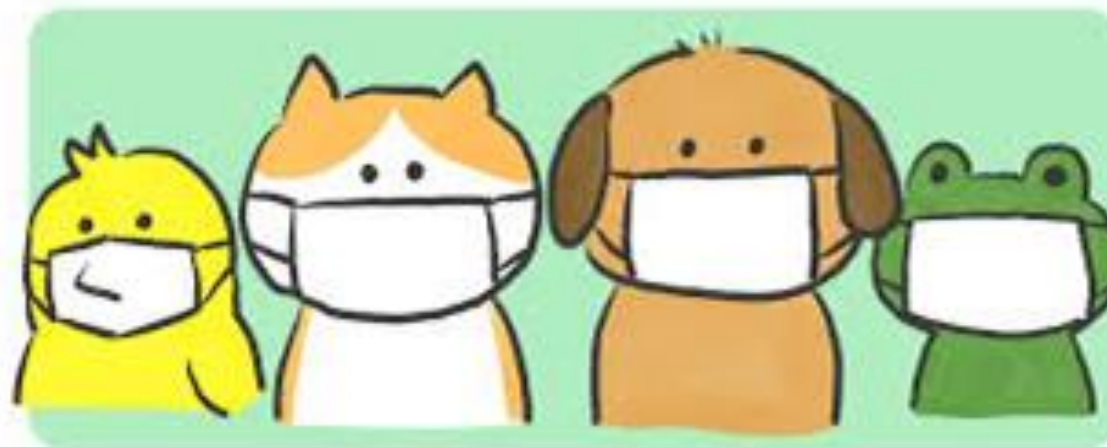


4 班

デザイン演習

最終課題発表



マスクに対する意識の変化



調査内容

マスクに対する

コロナ前 コロナ禍 コロナ後 の意識を調査

マスク着用していない人への印象という面からも

マスク着用について

どのような印象も持っているのか調査



路上観察

調査内容

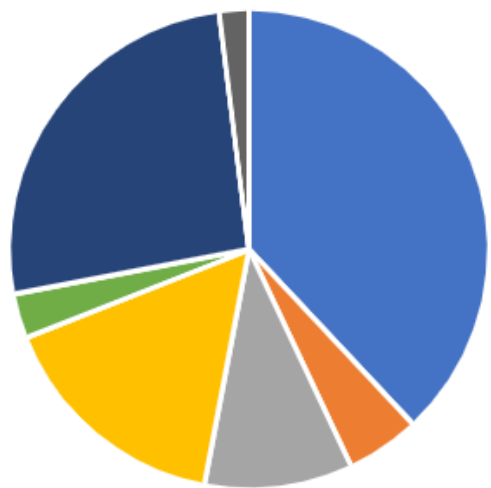
- 調査日時👉 10月19日 15時30分～16時30分
- 調べる対象👉 大学に来る人のマスク
- 調べる内容👉 種類・色・形・性別
- 調べる場所👉 神奈川大学正面入り口

調査人数

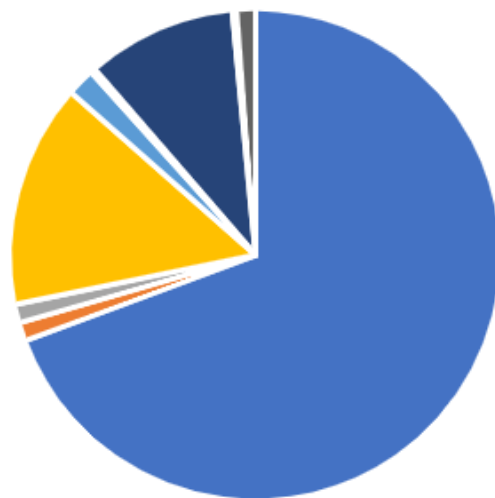
- 女性 373人 男性 331人

路上観察 色

女性 色の割合



男性 色の割合



ここから分かること



色のバリエーションが豊富

- 白
- ピンク
- ページュ
- 黒
- 青
- 紫
- グレー
- 緑
- 柄

路

コロナウイルス予防のみではなく、
ファッションの一部として
マスクを活用する人が多いのではないか？

■ 不織布 ■ カラス(不織布) ■ ウレタン ■ 布 ■ KF94

インタビュー & グーグルフォーム

調査内容

- コロナ禍前のマスクの使用目的
- コロナ禍現在のマスクの使用目的
- コロナ終息後のマスクの使用目的
- マスク着用していない人への印象

インタビュー

調査対象者

- 男女 2 人ずつ
- 1 人目 大学 1 年生 女性 Mさん
- 2 人目 大学の職員 女性 清水さん
- 3 人目 大学 1 年生 男性
- 4 人目 大学の職員 男性

グーグルフォーム

調査対象

47人

性別：男性 55.3% 女性 44.7%

年齢：18歳未満 10.6% 18～22歳 85.1%
22～30歳 0% 30歳以降 4.3%

インタビューの回答から得たこと

年齢による相違点

→若い人 とりあえずつける ファッション感覚

周りの目が気になる

洋服に合わせてマスクを選ぶ

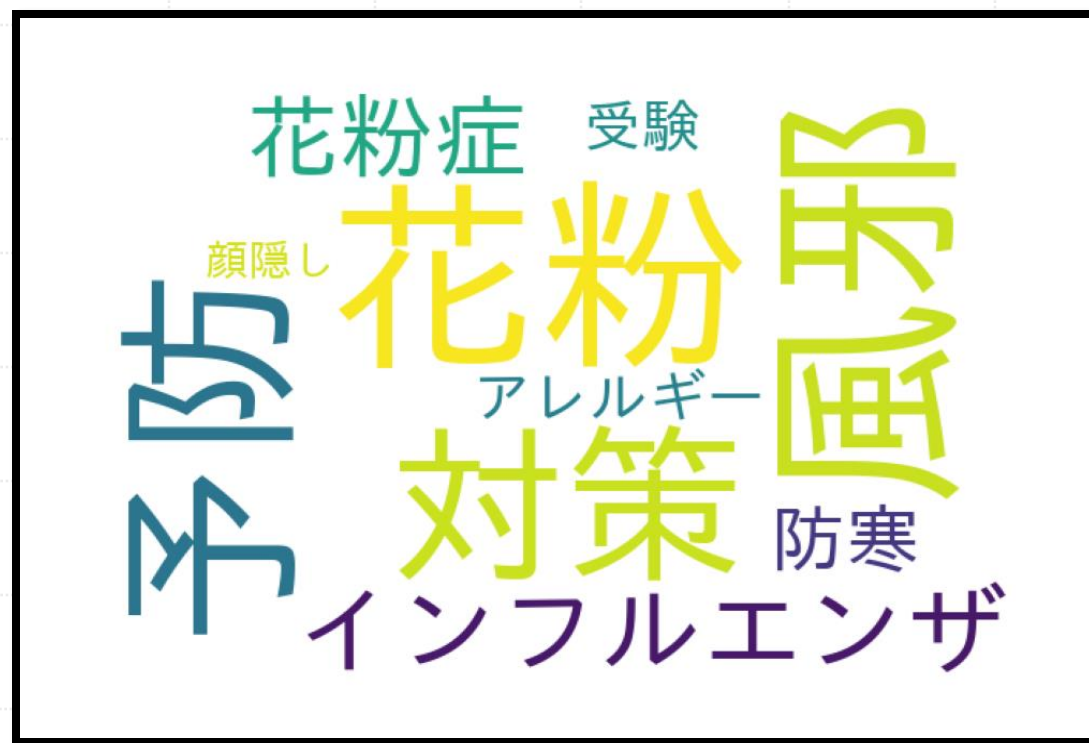
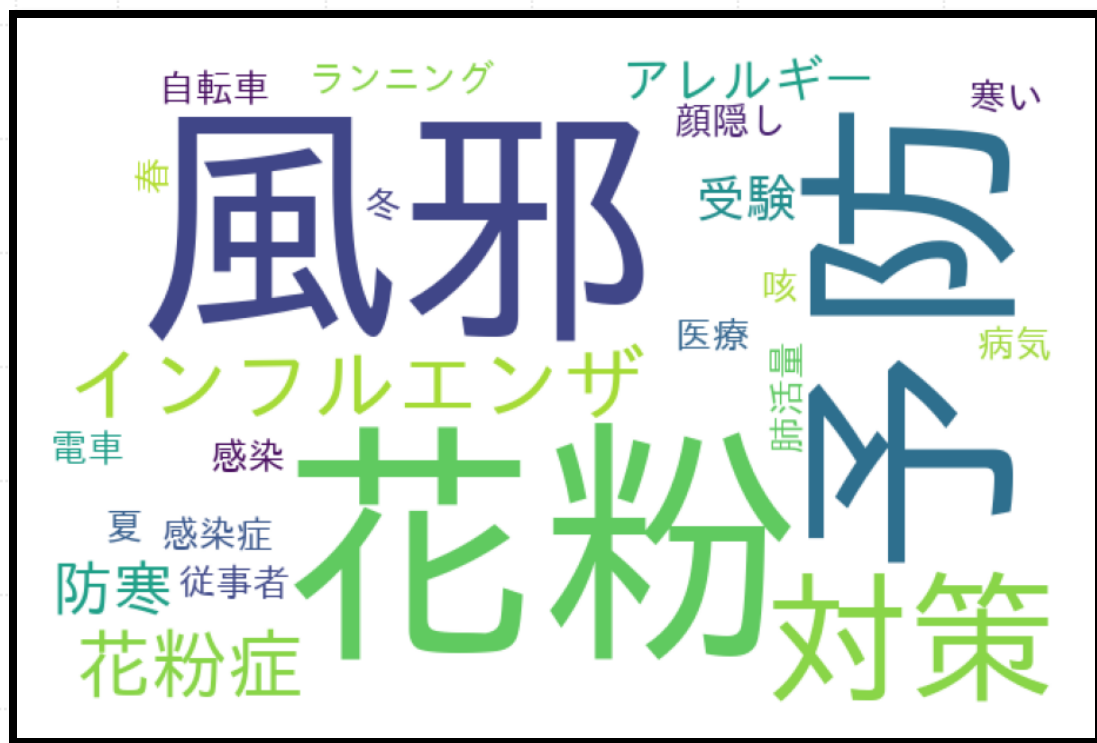
年齢層が上の方 効果を大切にする

99%以上の効果があるマスクを選ぶ

共通点

マスクを外すタイミングは周りの目を気にするという回答

グーグルフォームからテキストマイニング コロナ禍前



コロナ禍



コロナ禍終息以後



マスク着用率の変化

		合計 (n数)	よくする	たまにする	全くしない	よくする + たまにする	
2020年7月調査	全体	4000	64.0	25.4	10.7	89.4	 1.5倍
	男性	2000	56.8	30.3	13.0	87.1	
	女性	2000	71.2	20.5	8.4	91.7	
2016年12月調査	全体	3433	24.4	34.5	41.1	58.9	 +3.7割
	男性	2073	19.4	32.3	48.3	51.7	
	女性	1360	32.1	37.9	30.0	70.0	
2015年12月調査	全体	4026	20.2	35.0	44.8	55.2	
	男性	2440	15.7	32.3	52.0	48.0	
	女性	1586	27.2	39.3	33.5	66.5	

(%)

マスクつけていない人への印象

グーグルフォームから

迷惑
理解
知る
常識
予防
考える
不快感
理由
返答

マイナスな印象

不快感やその人の

常識を疑う

というような回答

→インタビューでも同様

まとめ

- マスクをファッション感覚として日常に取り入れている
- 年齢によって、マスクに対する意識が違う
- マスクを着けていない人への印象が悪く、マスク着用は自分の為だけでなく、世間体などを気にしてつけている場合もある
- コロナ後、マスクを着用すると回答する人も多く、その目的としてファッション、顔隠し、また、インフルエンザ等の病気の予防が挙げられた。
- 一方、マスクを外したいが、周りの目を気にして外しにくいという意見もあった。